

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する現地確認について

2. 日時：令和4年8月25日(木)9時00分～15時20分

3. 場所：北海道電力株式会社泊発電所敷地内及びとまりん館

4. 調査参加者

原子力規制庁

大島原子力規制部長

地震・津波審査部門

内藤安全規制管理官、名倉安全規制調整官、鈴木安全審査専門職、馬場係員

5. 対応者

北海道電力株式会社

原田 常務執行役員、藪執行役員 他22名

6. 要旨

第1057回及び1065回原子力発電所の新規制基準に係る審査会合の際、北海道電力が検討中としていた新たな入構ルートの予定地等について、津波評価への影響の観点から現地で直接確認を行った。

(1) 確認結果

原子力規制庁は、以下の点について現地確認を実施した。

- ・茶津入構トンネル等、現在検討中の新設構内入構ルート予定地の位置
- ・新設防潮堤端部の位置及び3号取水口
- ・その他、F-1断層の活動性評価に係る開削調査箇所（南側）の露頭

また、原子力規制庁は、クリティカルパスを含めた作業スケジュールについて社内での一元管理、意思疎通及び周知・徹底を十分に行い、北海道電力としてのスケジュールを示すよう改めて指摘し、北海道電力から了解した旨の回答があった。

7. 提出資料

- ・泊発電所3号炉現地確認資料集

- ・ 泊発電所 3 号機の新規制基準適合性審査に係る現地確認行程表